

## H 1 7 年度第 1 回山口県県民活動審議会会議事録

日時 平成 1 7 年 5 月 2 0 日 (金) 1 0 : 0 0 ~ 1 2 : 0 0

場所 共用第 5 会議室

(会長)

お配りしております審議会の次第に従って、議題を進めていきたいと思えます。

今日はそこに、その他も含めまして 4 点掲げてありますけれど、まず議題 1 の平成 1 7 年度県民活動促進事業についてですが、事務局の方からまず資料の説明を頂いて、それから意見交換を行いたいと思えますので説明をお願いします。

(事務局)

[説明省略]

(会長)

ありがとうございます。

始めにお話がありましたようにこの事に関しましては、昨年度の最後の会議で出まして、そしてまたこの会で再度検討するというものでした。今、ご説明頂きましたけれど、これに関して何かまずご質問を伺いたいと思うんですけれど、ご質問あればお願いいたします。

(委員)

市町村との連携強化ということが今、入っているわけですね。当然これは是非やって頂きたいのですが、この実行委員会と市町村との連携というのはどういうふうにご考えておられるか、ちょっとお聞きしたいのですが。

(事務局)

それでは、お答えしたいと思います。

県民活動情報交換会というのを実行委員会の企画・運営により、開催することを予定しておりますけれど、資料 1 ページ目の事業内容の 3 番のところを御覧頂きたいんですが、この中に「情報交換会を開催するにあたっては、市町村や県関係事業家の参画を求めて、より効果的な実施を図っていく」とあります。この情報交換会への参加を勧めていくことで、市町村との連携を強化していきたいというふうにご考えております。

(委員)

昨年、行いましたと同じように、県内各地で情報交換会を開催すると。具体的には、そういうふうになるということですか。

(事務局)

はい。

実行委員会の企画・運営によりまして、そのような形に近付けたいというふうにご考えております。

(会長)

ありがとうございます。

では、他にご質問でもご意見でも結構です。ないでしょうか。

(委員)

昨年、前回の時に県民活動団体との協働による、実行委員会の構成について皆さんからご意見があつて、先ほども事務局の方から説明があつたんですけども、その時の趣旨として、本当に実行力のあるメンバーでやった方がいいんじゃないかということだったと、私は理解してるんですが。

結局団体数は変えないと、けども、3つに分かれることによって、小回りが利くということができるんじゃないかということで、団体数をそのままにして3つのブロックに分けたということですね。確認なんですけど。

それともう1つ、これも確認というか、こういうことでいいのかなと思つて聞きたいんですけども、そうしますとそれぞれのグループ毎は、それぞれに勝手に集まってやってね、ということでこの実行委員会、1.2.3.4回というのはその進捗状況とか、皆さんの道筋がちゃんとあつているかどうかというのを、皆で会つて話をするという場になるということでしょうか。

確認です。お願いします。

(事務局)

まず1点目、募集の対象について、それから個人を募集するのか団体を募集するのかという点について、ちょっと補足的に説明を申し上げたいと思います。

募集対象については、本当に慎重に検討を重ねてまいりました。個人を対象にするのかどうか、とか再度、約800の県民活動団体すべてに募集をかけるのかどうかという点も視野に入れて考えましたが、団体を構成するのは個人でありますし、企画力・運営力を持った同じ方に実行委員会の立ち上げからキャンペーンの終了まで関わっていただくよう募集の段階をお願いをすることで、個人の企画力や運営力は生かされるのではないかということ。それから、さらに昨年度、県民活動共同推進事業において、県民活動団体には積極的に応募いただき、この促進事業をどう捉え、どう進めていくかを熱心にご検討いただいた経緯からは、非常に前向きな感触を得ておりまして、一応のステップは踏んでいることなどによりまして、募集のターゲットを51団体に絞らせていただきました。

(会長)

1つ目の質問ですけど、団体の方の代表が出て結局数としては前回討議した20名ということになっていることが、前回多いという意見が出たので、それが変わらないということは3つのグループに分かれたことによって解消できると考えておられるのか、という質問だと思うんですが。

(事務局)

はい。そうです。

それから、会議のほうですけど、会議は第1回と第4回は、全実行委員お集まりをいただき、それから直前のここで言います第3回位を全員の方にお集まりいただき、第2回としておりますようなところを各チームの進捗状況によって、回数を増やしたりすることも、

そのあたりは柔軟に考えております。

(会長)

ちょっと私が質問していいかわからないのですが、例えば、前回は人数のことで問題になった訳ですから、きらめき財団や県民活動支援センターのほうからどれくらいの方が人数考えておられて、それを3つのグループに分けると、1つのグループがどれくらいになるのかという人数をお示しいただくと、またちょっと違うのではないかと思うんですが、いかがでしょうか。

(事務局)

はい。そうですね。

県民活動団体20を、3チームですとだいたい6~7人に1つのグループがなるかという風に思いますが、それに財団、それから支援センターのほうから各チームには、1名ないし2名入っていただくような形になるんじゃないかと考えております。

(会長)

3つのグループに1名か2名ということですか。

(事務局)

はい。それぞれのグループにですね。

(会長)

わかりました。では、1つのグループがだいたい8名から多いところには9名になるかもしれないという、それくらいの数ですか。

(事務局)

そうです。

(委員)

続けて今の実行委員会の業務フローのところを見ながらお話をさせていただけたらと思うんですが、例えば実行委員はこの審議会とは直接関係なく動いてまいります。で、例えば最終回の11月中旬の第4回実行委員会と、この審議会がリンクして状況を聞けるとより良い形で進むのではないかというふうに思っております。

というのが、審議会が次にあるのは3月の下旬という形になると、実行委員会の皆様方と当然、11月6日のボランティアフェスティバルではお会いしたりということはあると思いますし、その間に私たちが前年度と同様、地域に出かけて行って、そういう場を体験するという事になれば、ここに一緒に何か提案とか提言とかっていうところの場にいたほうが、情報を共有できるのではないかというふうに思うんですが、その点はいかがでしょう。

(事務局)

今のご意見は、来年度色々な計画を立てていく上でも非常に大切なことというふうに思いますので、この審議会の委員さんと実行委員会の意見交換とかできるような場というのも、今後検討して加えてみたいというふうに思います。

(会長)

ありがとうございます。それは、予算的には可能ですか？

(事務局)

はい。可能であります。

(会長)

わかりました。では、ご検討いただければと思います。

ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

(委員)

実行委員会に私たちが出ないとすれば、私たちの思いと言うのは少しは入らないと思うんですね。それで実行委員にちょっとお願いというか、県民活動パワーアップ賞は、去年私も出させていただきました。これは、知事がお渡しになるからかもしれませんけれども、県庁であったんですが、これは折角魅力ある地域づくりの在り方を紹介するとあるのに、本当に報道の方しかいないと。で、私たちがちょっといるだけで、折角なのに誰も知らないんですね。

で、他の団体、表彰されるのは、ボランティアフェスティバルで表彰されたんですが、そのとき一緒にこれはできないものかな、でその時に是非知事にもいらしていただいて、やっていただくというのを実行委員会でも取り上げていただけたら、そのほうがもっとみなさんにパワーアップ賞というものを知っていただく機会になるんじゃないかと思いますが別個のものなんですが、その辺は私にもちょっとわからないのでお聞きいたします。

(会長)

はい。パワーアップ賞のことなんですが、いかがでしょうか。

(事務局)

はい。現在の予定では、パワーアップ賞の表彰式は、昨年どおり10月上旬を予定し、それから、受賞団体の活動の詳しい紹介を11月6日のフォーラムで例年どおりご披露したいなというふうに考えております。けれども、それを同じ機会に大きな規模でというのも、今後また検討させていただきたいというふうに思います。

(会長)

はい。ありがとうございます。他にないでしょうか。

(委員)

確認なんですけれども、この実行委員会の中の主な業務の中に、県民活動ボランティアフェスティバルにおけるフォーラムの企画・運営というのがございますが、これはボランティアフェスティバルの中のフォーラムという一部の企画・運営ですよね。全体ではないですね。全体は別にあるんですよね。

(事務局)

はい。

(委員)

はい。わかりました。

(会長)

はい。ありがとうございます。他によろしいですか。

ではもし、ご意見ご質問などなければ、次の議題に移りたいと思います。

議題の2ですけれど、平成17年版 県民活動白書の作成についてです。では、事務局の方から説明をお願いします。

(事務局)

[説明省略]

(会長)

はい。ありがとうございました。

では、この県民活動白書についてですが、何かご質問はありませんか。

ご意見でも結構です。

(委員)

はい。ここの記述のところで、協働ネットワーク事業と、協働事業という書き方があるので、ちょっと意味合いが違ったら教えて欲しいんですけど。

(事務局)

協働ネットワーク事業というのは、平成16年度にきらめき財団のほうで実施された事業名でございます。で、後は一般的に、協働という表現をさせていただいています。

(委員)

県民活動団体が800リストあがっているということなんで、800団体の一言でも、何かメッセージが載っているというようなものもひとつ、実態が掴めるんじゃないかな、様子がわかるんじゃないかなど。

それは、市町村別のほうがいいのか、どういう分類がいいのかわかりませんが、どんな活動をしているのか800団体もあれば、かなり皆面白いデータにもなるんじゃないかなと思います。それと併せて、今どんな調査をおやりになっているかということ、その調査の結果で何をひきだそうとされているのか、その辺りも併せてお聞かせ願えればなと思います。

(会長)

はい。ではお願いいたします。

(事務局)

団体の調査につきましては、白書の第1部の中で、経年比較が採れるというのがまず大